

宮城県保健環境センター
課題評価結果報告書

平成29年3月15日

宮城県保健環境センター評価委員会

目 次

| | | |
|---|----------------------------|---|
| 1 | 宮城県保健環境センター評価委員会開催状況 | 1 |
| 2 | 評価委員 | 1 |
| 3 | 評価対象課題 | 1 |
| 4 | 評価方法 | 2 |
| 5 | 評価結果 | 3 |

1 宮城県保健環境センター評価委員会開催状況

- (1) 平成28年度第1回評価委員会
平成29年1月6日（金） 午後1時30分から午後3時30分まで
宮城県保健環境センター大会議室
- (2) 平成28年度第2回評価委員会
平成29年2月27日（月） 午後1時30分から午後3時まで
宮城県保健環境センター大会議室

2 評価委員

| | 氏 名 | 所 属 ・ 職 名 |
|-----|--------|-------------------------|
| 1 | 加藤 徹 | NPO法人めぐりねっと21理事長 |
| 2 | 齋藤 紀行 | 東北生活文化大学短期大学部生活文化学科教授 |
| 3 | 白川 愛子 | 宮城大学食産業学部フードビジネス学科准教授 |
| ○ 4 | 多田 千佳 | 東北大学農学研究科環境システム生物学分野准教授 |
| 5 | 福島 美智子 | 石巻専修大学理工学部食環境学科教授 |
| 6 | 村田 功 | 東北大学大学院環境科学研究科准教授 |
| ◎ 7 | 山田 一裕 | 東北工業大学工学部環境エネルギー学科教授 |

50音順 ◎印は委員長 ○印は副委員長

3 評価対象課題（事前評価）

| 整理 番号 | 研究区分 | 担当部名 | 研究課題名 | 研究期間 |
|----------|------|------|------------------------|--------|
| 1 | 経常研究 | 微生物部 | 市中における薬剤耐性腸内細菌科細菌の実態調査 | H29-30 |

4 評価方法

平成28年度第1回評価委員会では、事前配布された課題評価調書等に基づき、保健環境センターから課題に関する説明を受け、質疑応答を行った上で各評価委員が評価を行いました。

第2回評価委員会では、各評価委員の評価結果を元にとりまとめた課題評価結果報告書案の内容について審議しました。

なお、評価項目と総合評価基準は以下のとおりです。

評価項目

| | |
|------|--|
| 事前評価 | <ul style="list-style-type: none">・ 課題の重要性・必要性・ 計画の妥当性・ 成果及びその波及効果 |
|------|--|

項目別評価基準

| 評価 | 事前評価 |
|----|------|
| 5 | 高い |
| 4 | やや高い |
| 3 | 普通 |
| 2 | やや低い |
| 1 | 低い |

総合評価基準

| 評価 | 事前評価 |
|----|--------------|
| AA | 計画は極めて優れている |
| A | 計画は優れている |
| B | 計画は妥当である |
| C | 計画の一部に課題がある |
| D | 計画の見直しが必要である |

5 評価結果

| | | | | | | | |
|--|---|------|------|------|-----------|---|----|
| 整理番号 | 1 | 研究区分 | 経常研究 | 研究期間 | 平成29～30年度 | | |
| 研究課題名 | 市中における薬剤耐性腸内細菌科細菌の実態調査 | | | | | | |
| 評価結果 | I 項目別評価 | | | | | | |
| | 評価項目 \ 評価 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 平均 |
| | 課題の重要性・必要性 | 4 | 3 | | | | 5 |
| | 計画の妥当性 | | 5 | 2 | | | 4 |
| | 成果及びその波及効果 | | 5 | 2 | | | 4 |
| | 【項目別評価 評価基準】 5：高い 4：やや高い 3：普通 2：やや低い 1：低い | | | | | | |
| | II 総合評価 | | | | | | |
| | \ 評価 | AA | A | B | C | D | 平均 |
| | 総合評価 | | 6 | 1 | | | A |
| | 【総合評価 評価基準】 AA：計画は極めて優れている A：計画は優れている B：計画は妥当である C：計画の一部に課題がある D：計画の見直しが必要である | | | | | | |
| III 意見等 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・調査項目への健常者検便提供者の居住地，入院歴，渡航歴（渡航先）等の追加について検討すること。 ・匿名性が確保できる範囲で地域分布や年齢による違いなどが分かる解析を行うこと。 ・仙台市との共同研究等により仙台市を含めた県全体を対象とした調査とすること。 ・県内の医療機関等において検出された薬剤耐性菌の種類及び検出率の変動等についての情報を入手し，本調査結果と比較し考察すること。 ・調査結果がもたらす緊要性によっては，詳細調査に移行することも念頭に入れ，個人情報取扱とその手続きに係る調整・検討を本研究と併行して進めること。 ・県民に対し，正しい理解につながる分かりやすい説明をすること。 | | | | | | | |